

令和七年度

入学者選抜学力試験問題

国語

受験番号

注意 答えは、すべて解答用紙に記入しなさい。

句読点や記号は、一文字として数えなさい。

問題作成の都合上、本文を一部改変しました。

【一】 次の各資料を読んで、あとの問いに答えなさい。

資料 1

遺伝子組み換え作物として、ダイズの次に多く作付けされているのがトウモロコシです。¹ 遺伝子組み換えトウモロコシのうち、代表的なものが、除草剤耐性トウモロコシと殺虫性トウモロコシです。その両方の性質を合わせもったトウモロコシもつくられています。

² この除草剤耐性、殺虫性、あるいはその両方の性質を合わせもったトウモロコシは、いづれも省力化・コストダウンを目指した作物で、生産者のメリットを求めたものです。しかも、アメリカのような広大な耕地で作付けされる際に役立つ作物です。

日本のように小規模で多様な作物をつくっている農家には、メリットはありません。また、消費者にもメリットはありません。³

ただ、現在開発中の遺伝子組み換えトウモロコシには、消費者にもメリットがある高付加価値のものが増えています。米 Monsanto 社は、高収量を目指した品種や、油量の含量を増やした品種の開発を進めています。米 ノバルティス・シード社は、高油量と殺虫性の性質を兼ね備えたトウモロコシを開発しています。デュポン社は、炭水化物やたんぱく質の成分を変更したトウモロコシを開発しています。いづれの企業も、高付加価値作物の開発に路線を変更しています。

消費者にとっては、食品につけられている表示だけが頼りです。しかし、現在出されている農水省の表示では、ほとんど選択できません。トウモロコシ製品の場合、コーンスナック菓子やポップコーンなど、ごく一部の食品のみの表示になっているからです。

^{注2} 生食用トウモロコシも表示を行なうことになっていますが、現状では出回ることはありません。^{注2} コーンスターチ自体も表示されますが、コーンスターチを使った食品が表示されることは考えられません。

そのため、現状で表示されるのは、コーンスナック菓子やポップコーンなど、ごく一部の食品だけで、その表示も、ダイズ同様、大半が「不分別」になってしまいます。組み換えトウモロコシを使っているのに、なぜ「使用」表示にならないかというと、アメリカが輸出する際に、遺伝子組み換えのものと同常のものを混ぜてしまうため、「不分別」になってしまうからです。

^{注3} また、「不使用」と書いてあっても混ざっているケースがあります。というのは、トウモロコシの場合、^{注3} 不可抗力での混入が、無制限で認められてしまったからです。たとえ二〇％入っていようが、不可抗力での混入の場合、「不使用」表示ができるのです。つまり「不使用」表示だからといって、決して〇％ではないのです。

(天笠 啓祐『知っておきたい 遺伝子組み換え食品の知識』二〇〇〇年八月三〇日初版発行)

注1 省力化 投入する労働力を減少させること。

注2 コーンスターチ トウモロコシからつくられるデンプン。

注3 不可抗力 人間の力ではどうすることもできない外力や事態。

令和5年4月1日から新たな遺伝子組換え表示制度に変わりました（新潟県ホームページ）

制度の概要

義務表示 遺伝子組換え農産物を使用している場合は、「遺伝子組換え」等の表示が義務付けられています。

任意表示 遺伝子組換え農産物を使用していない場合は、「遺伝子組換えでない」等の表示をすることができます。

なお新制度となる令和5年4月1日から、大豆^{だいず}及びとうもろこし並びにそれらを原料とする加工食品において、「遺伝子組換えでない」と表示する際の条件が変更となりました。

任意表示^注について【令和5年4月1日から変更されました】

遺伝子組換え農産物が混入しないように分別生産流通管理が行われた対象農産物及びこれを原材料とする加工食品については、遺伝子組換えに関する表示義務はありません。

ただし、任意で「分別生産流通管理を行っている」旨^{むね}又は「遺伝子組換えでない」旨の表示をすることは可能です。

令和5年4月1日以降、「遺伝子組換えでない」旨は、分別生産流通管理を行った上で、遺伝子組換え農産物の混入がないと認められる対象農産物及びこれを原材料とする加工食品に限り、表示することができるようになりました。

注 任意 その人の意思にまかせること。自由に選ばせること。

変更点及び表示例

（令和5年3月31日まで）

①	分別生産流通管理をして、意図せざる混入を5%以下に抑えている大豆及びとうもろこし並びにそれらを原材料とする加工食品	表示例 ○大豆（遺伝子組換えでないものを分別） ○大豆（遺伝子組換えでない）
---	---	--



（新制度（令和5年4月1日から））

②	分別生産流通管理をして、意図せざる混入を5%以下に抑えている大豆及びとうもろこし並びにそれらを原材料とする加工食品	表示例 適切に分別生産流通管理された旨の表示が必要 ○大豆（分別生産流通管理済み） ○原材料に使用しているとうもろこしは、遺伝子組換えの混入を防ぐため分別生産流通管理を行っています
③	分別生産流通管理をして、遺伝子組換えの混入がないと認められる大豆及びとうもろこし並びにそれらを原材料とする加工食品	○大豆（遺伝子組換えでない） ○大豆（非遺伝子組換え）

問 1 —— 線部 1 「遺伝子組み換えトウモロコシ」について、正しく説明しているものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 遺伝子組み換えトウモロコシは、除草剤耐性トウモロコシと殺虫性トウモロコシのどちらかに分類することができる。
- イ アメリカのような広大な耕地で作付けされるトウモロコシは、消費者の利便性を考慮して遺伝子組み換えのものが広く使われている。
- ウ 日本で遺伝子組み換えトウモロコシがあまり作られていないのは、消費者の間に、遺伝子組み換え作物に対する抵抗感が強くあるからである。
- エ 遺伝子組み換え作物は、広大な耕地で有効であり、耕地面積や栽培する作物の種類などが異なる日本では、必ずしも有効ではない。
- オ 遺伝子組み換え作物は、いずれも省力化・コストダウンを目指した作物であり、近年日本でも盛んに栽培されるようになってきている。

問 2 —— 線部 2 「この」の品詞名を漢字で答えなさい。

問 3 —— 線部 1、—— 線部 3 について答えなさい。次の項目が「遺伝子組み換えトウモロコシ」に相当する場合はア、「現在開発中の遺伝子組み換えトウモロコシ」に相当する場合はイ、両方に相当する場合はウ、どちらにも相当しない場合はエで答えなさい。

- A 高収量を目指したもの。
- B 炭水化物の成分が変更されたもの。
- C 殺虫性をもつもの。
- D 豊富なビタミンが含まれるもの。
- E 高油量を目指したもの。
- F 短期間で成長するもの。

問 4 —— 線部 4 「不使用」と書いてあっても混ざっているケースがあります」とあるが、それはなぜですか。四十字以内で答えなさい。

問 5 資料 2 の新制度の内容について、正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 遺伝子組み換え農作物を使用していない場合は、「遺伝子組換えでない」などの表示をしなければならない。
- イ 遺伝子組み換え農作物の、意図せざる混入が 5% 以下の場合には、「遺伝子組換えでない」の表示をすることができる。
- ウ 遺伝子組み換え農作物の、意図せざる混入ならば混入率には関係なく、「大豆(分別生産流通管理済み)」の表示をすることができる。
- エ 遺伝子組み換え農作物を使用していない場合は、「大豆(遺伝子組換えでないものを分別)」などの表示をすることができる。
- オ 遺伝子組み換え農作物を使用している場合は、「遺伝子組換え」などの表示をしなければならぬ。

問6 資料1と資料2において、遺伝子組み換えトウモロコシの「不可抗力での混入」があった場合、

どのような表記になりますか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 資料2の場合は、意図せざる混入を5%以下に抑えている場合、「原材料に使用しているとうもろこしは、遺伝子組み換えの混入を防ぐため分別生産流通管理を行なっています」という表示ができるのに対し、資料1では混入率には関係なく「不使用」という表示ができる。

イ 資料2の場合は、「分別生産流通管理をして、遺伝子組み換えの混入がないと認められる大豆及びとうもろこし並びにそれらを原材料とする加工食品」という表示ができるのに対し、資料1では混入率には関係なく、「不使用」という表示ができる。

ウ 資料2の場合は、混入率には関係なく「原材料に使用しているとうもろこしは、遺伝子組み換えの混入を防ぐため分別生産流通管理を行っています」という表示ができるのに対し、資料1でも「不使用」という表示ができる。

エ 資料2の場合は、混入率には関係なく、「原材料に使用しているとうもろこしは、遺伝子組み換えの混入を防ぐため分別生産流通管理を行なっています」という表示ができるのに対し、資料1では混入率が20%以下の場合に「不使用」という表示ができる。

オ 資料2の場合は、意図せざる混入を20%以下に抑えている場合、「原材料に使用しているとうもろこしは、遺伝子組み換えの混入を防ぐための分別生産流通管理を行なっています」という表示ができるのに対し、資料1では混入率が0%の場合に「不使用」という表示ができる。

Ⅱ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

① 人はコトバおよびそれに対応した概念を持つことにより、世界を組織化し、秩序立った形で他者にそれを伝達することが可能になった。またそれを受け取る人は自らが経験していないことを知識としてたくわえ、まさに人の肩に乗って生活をしていくことが可能になった。これによって人は遺伝子や直接の経験からの学習の呪縛を超えて、¹文化的学習(cultural learning)が可能になり、その進歩のスピードを飛躍的に上昇させたと言われている。

② その一方、学校、大学、職場、社会において、学習がいかに遅々たるものか、そこにどれだけの誤解が生じているかは多くの人がいやというほど経験済みのことだろう。^{注1} A 何か一定以上複雑なことがコトバだけで伝わったり、学ばれたりすることは稀^{まれ}といっても過言ではない。

③ それは、作り出される感覚、知識のネットワークは言語では語り尽くせないような豊かな内容を含んでいるからだ。リングが何かを教える場面において、自分のさまざまな感覚のネットワークの構成要素、そしてその間のつながりを強弱も含めてすべてコトバで表現できる人などいるはずがない。だから言語的に知識を伝達しようとしてうまくいかないのだ。²

④ またコトバは万能選手ではない、得手不得手があるのだ。コトバは、全体性を持つような場面や対象、また直感的な理解を表現するには適していない。そうしたものをコトバで表現すると、認識が阻害されることもある。B 人の顔や声はコトバで表すことは難しい。これを無理にさせるとどのようなことが起きるかといえば、それらの認識の低下なのである。言語隠蔽効果(Verbal overshadowing)と呼ばれる現象はまさにこうしたことを示している。ある実験では、被験者にビデオを見せ、そのビデオに出ていた人物の顔の特徴をできるだけ詳しく記述させた。その後、その人物を含む複数人の顔写真から、どれがビデオに出ていた人かを指摘させる。すると言語的な記述をした人たちの正答率は、それを行わずにまったく別の作業をその間行っていた人よりも I してしまうのだ。

⑤ さらに私たちの感覚のネットワークは意識できないものも含んでいる。私たちは無意識的な情報も取り込んでいるし、その影響を受けている。だから身体化された知識の構成要素にはそれらが確実に入り込んでいる。こうした情報は本人自身が意識できないので、⁴それを伝えることはもちろんできない。

⑥ またコトバはそもそも II である。だから発したコトバがどのように解釈されるかは聞き手や状況によって大きく変化する。昔は仁徳天皇陵、今は大仙陵古墳と呼ばれるものは前方後円墳と言われている。私ももう半世紀も前に学校でそのことを教わり、何も考えずに覚えていた。C 数年前に、突然「逆じゃないか」と気づいた。前方後円墳ならば、前が方形で、後ろが円形になっているはずだが、ふつうに写った写真を見れば円形部が上、方形部が下になっている。多くの人にとって、この自然な解釈は、「III 墳」になるのではないだろうか。どうも最初にこのように名付けた人が、このお墓を横から見て、牛車に似ていると思い、方形の部分を生が引いている様、円形部分の人が乗っているところと解釈したためという。そもそも昔の人は上から見ることはできなかったわけだから、別にこの命名が間違いということにはならないだろう。

⑦ このように聞き手の視点の取り方、状況によって、コトバはその意味を大きく変える。だからその領域で経験の豊かな人が、経験のない人にコトバで何かを伝えるときは、^{注3}齟齬が生み出される可能性はとても高いと考えなければならない。

(鈴木 宏昭『私たちはどう学んでいるのか』)

注1 遅々たる 物事の進みが遅く、ゆったりしているさま。

注2 隠蔽 おおい隠すこと。

注3 齟齬 物事がうまくかみあわないこと。

問1 空欄A～Cにあてはまる語句を、次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア なぜなら イ たとえば ウ しかし エ つまり

問2 ——— 線部1「文化的学習が可能にな」ったのはなぜですか。その理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 言葉によって周囲の事物を整理し、筋道立てて他者に伝達することが可能になり、それを受け取る人は他者の経験をもとに知識を得ることが可能になったため。

イ 言葉によって世界を全体的にとらえ、直接的に伝えることができるようになり、自らの体験をもとに言葉を構成できるようになったため。

ウ 言葉によって無意識下に蓄えられた知識を他者に伝えることができるようになり、それを繰り返し体験することで学習を向上させることができるようになったため。

エ 言葉によってネットワーク化された知識を組み合わせることができるようになり、意識的に自己の感覚を他者に伝えることができるようになったため。

問3 ——— 線部2「言語的に知識を伝達しようとしてうまくいかない」とあるが、それはなぜですか。その理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 言語による伝達では、伝える側の感受性によって表現が異なるから。

イ 言葉による伝達では、高度なことを伝えることができないから。

ウ 言葉による伝達では、感覚のネットワークのすべてを表現することはできないから。

エ 言語による伝達では、年齢によって言葉に対する得手不得手が生じるから。

問4 ——— 線部3「こうしたこと」とは何を指していますか。解答欄に合うように五十字以内で説明しなさい。

問5 ——— Iに入る語句を本文中から二字で抜き出して答えなさい。

問6 ——— 線部4「それ」が指している内容を本文中から十字以内で抜き出して答えなさい。

問7 ——— IIに入る語句を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 論理的 イ 客観的 ウ 多義的 エ 直感的

問8 ——— IIIに入る言葉を本文の記述に基づいて漢字四字で答えなさい。

問9 次の一文は、どの段落の末尾に入りますか。段落番号で答えなさい。

つまり名付けた人の置かれた状況と言語表現は切り離せないということなのだ。

問10 本文の表現について述べたものとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア [2]段落で「学校、大学、職場、社会」など身近なテーマを取り上げることで、言葉による伝達の齟齬をわかりやすく伝えている。

イ [4]段落で「言語隠蔽効果」の実験結果が書き手の主張を支える根拠としての役割を担っている。

ウ [6]段落の「逆じゃないか」という表現は、知識を習得する過程で先入観が影響していることを強調している。

エ 本文全体で「コトバ」とカタカナ語にしているのは、「コトバ」はあらゆる意味で解釈される万能なものという主張を強調している。

【三】 次の――線部の漢字の部分はひらがなに、カタカナの部分は漢字に直して書きなさい。

- ① 名残を惜しむ。
- ② 待てば海路の日和あり。
- ③ 代替案を考える。
- ④ 繰り返す度に事態が悪化する。
- ⑤ 人柄がよい。
- ⑥ ヘイボンな人生を送る。
- ⑦ メンミツな取材を行う。
- ⑧ 店がカンバンを掲げる。
- ⑨ 六月はコウウ量が多い。
- ⑩ 部屋の布団でネる。

【四】 学校生活において、あなたが心にかけていることは何ですか。その理由も合わせて百字以上百二十字以内で述べなさい。